

## フォード社工場の労働者数:ハイランド・パーク工場とリバー・ルージュ工場

栗木安延 (1997) 『アメリカ自動車産業の労使関係』 社会評論社

T型車の生産増加にともない、フォード社の労働者数が激増

1908年 450人 →1912年 **14,366人** : 5年間で31.9倍、年平均増加率108.5%

ロバート・レイシー [小菅正夫訳] (1989) 『フォード:自動車王国を築いた一族』 新潮文庫

1911-12年、ハイランド・パーク工場は78,440台のT型車を**6,867人**の労働力で生産。

1913年、生産台数は倍以上に、労働者数も同じく倍以上の**14,336人**に。

1913-14年、移送式組立ラインが採用され、ハイランド・パーク工場の生産台数はさらに倍になったが、労働者数は**12,880人**に。/204

塩見治人 (1978) 『現代大量生産体制論』 森山書店

1913年10月1日時点のハイランド・パーク工場の職種別職階別賃金表の労働者数の合計は**13,304人**。/267

1914~15年ごろ、ハイランド・パーク工場が完成。 [写真]

工作機械15,000台以上、労働者**15,000人以上**。<sup>1</sup>

T型車の生産台数は最高で日産1,212台<sup>2</sup> (8時間1シフト)

1914年2月までの設備投資総額は、建物・タンクその他付属施設に3,575,000ドル、機械設備が約28,000,000ドル。/217

リバー・ルージュ工場は1920年代から本格的な操業、1925年ごろに完成。

工場土地面積1,115.12エーカー、建物面積159.62エーカー<sup>3</sup>、建物93棟(主要棟は23)、**75,000人**の労働者<sup>4</sup>

高炉3基(生産能力は日産500トン)、鑄造工場、部品工場、車体工場、セメント工場、ガラス工場、発電所など /234

1923年、フォードT型車の生産台数は200万台を越えた。

T型車単一車種の生産〔年産?〕200万台大量生産体制 /186

栗木 (1997)

1938年ごろ ルージュ工場ではおよそ**90,000人**の労働者が働いていた。

<sup>1</sup> Arnold, H.L., 'Ford Methods and Ford Shops I', *Engineering Magazine*, April, 1914, p.1.

<sup>2</sup> 年間稼働日数を300日とすると、年産363,600台になる。

<sup>3</sup> 159.62 acres × 4046.8 m<sup>2</sup> = 645,950 m<sup>2</sup>. 東京ドームの建築面積は46.755 m<sup>2</sup>.

<sup>4</sup> Nevins, A. and F.E. Hills, *Ford: Expansion and Challenge, 1915-1932*, 1957, pp.292-3. (駒大図書館所蔵 920.2/2)